

「がんばろう、なとり」 No.10

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.25

今日は不安定な天気、朝は快晴、昼から雷雨、夕方は晴れと、目まぐるしく変化した1日でした。右の写真は、私たちが泊まっている宿のすぐ目の前の増田川。この川にも車や漂流物が押し寄せ、今現在も行方不明者の捜索作業が行なわれており、先日もご遺体が発見されたそうです…。流木やタイヤ、家財道具の一部などは見受けられますが、こんなにも身近なところで発見されるとは…。亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。



「2階書庫の本を移動！危険の伴うバケツリレー作業」

今日は、ボランティアの方3名が駆け付けてくれました。名取市図書館の職員と一緒に1階の児童書整理を行ない、段ボールに箱詰めしていました。



地元の方に加え、仙台市からも来られたようです



分類ごとに箱詰めしています

午後からは、地震によって傾いた2階の書庫にある書架修理に、書架メーカーのキハラ(株)の方が来館しました。すぐさま作業に取りかかりたいところですが、写真のように足場もない状況のうえ、書架は斜めに傾いており、本が支えとなってその形状を保っている危険な状況。いずれにしても、作業をするにはまず本を出さなければならなくなりました。

「19人によるバケツリレー」のもと、隣にある部屋に移しました。その数、約11,500冊！続けて、別の部屋では2階から1階へ同じ作業を行ないました。この作業は明日も続きます。



本を抜くと倒壊の危険性がある作業でした



全員の力が結集！19人によるバケツリレーはお見事！



あっという間に本で埋め尽くされました
2時間で作業終了！お疲れさまでした

編集後記

作業中、天地を切り裂くような雷鳴がしばし轟いていました。地震と天候は不思議な繋がりがあるようですが、余震が続くなか、やはり不安を掻き立てられます…(M)



別の書庫での作業風景
2階から1階へのバケツリレー